

# インターネット受発注システム 2021

(略称:IJS21)

## 自動連携サービス

操作ガイド

V e r 1.3.1.0

日本文紙データ交換機構

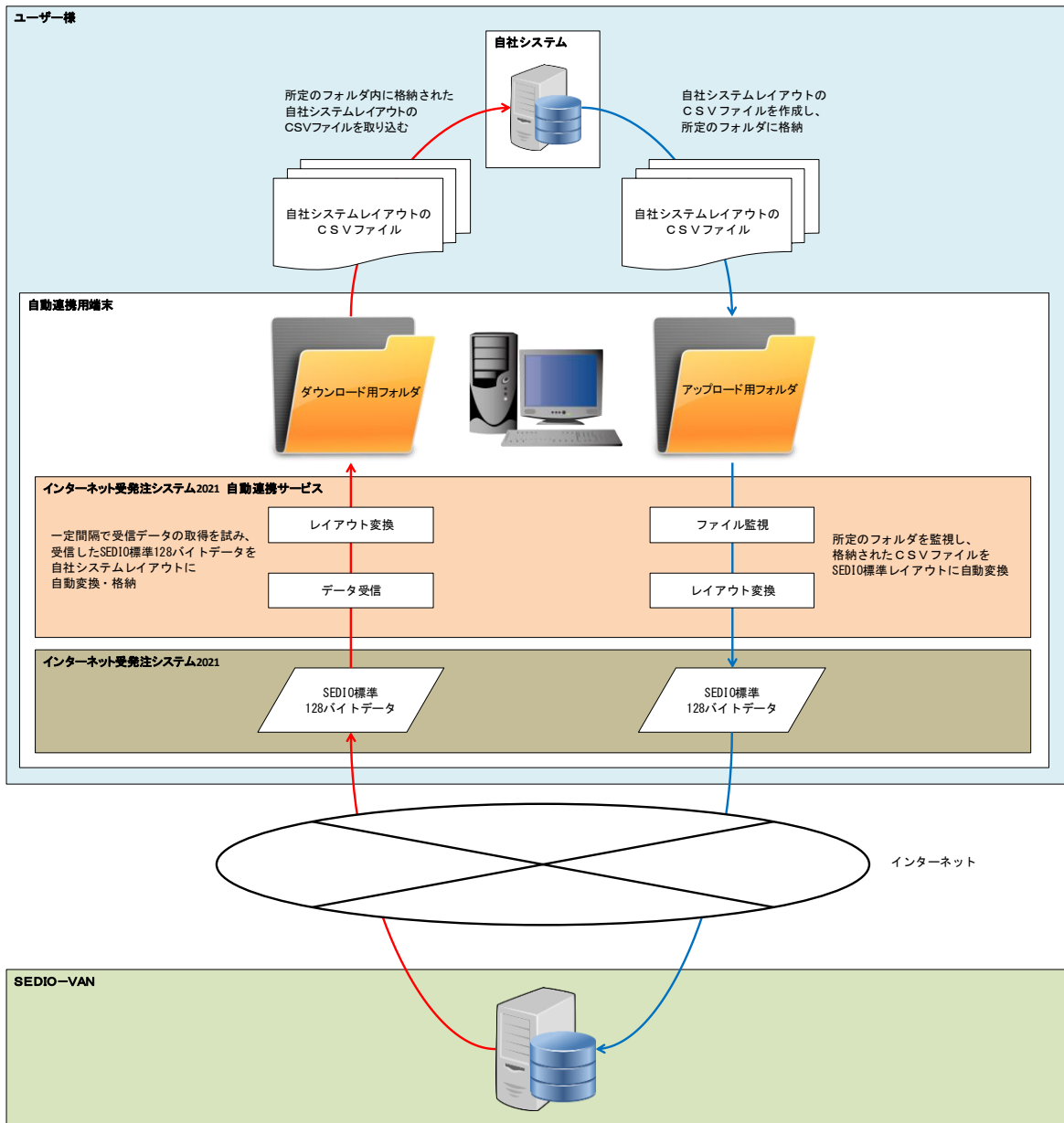
## 改訂履歴

改訂年月日	改訂番号	改訂の内容
2017.07.24	1.0.0.0	初版
2018.03.28	1.1.0.0	発注送信機能の追加
2020.04.10	1.2.0.0	発注受信機能・蔵出受信機能の追加、動作環境の変更
2021.10.18	1.3.0.0	納期回答送信機能・納期回答受信機能・請求照合送信機能・請求照合受信機能の追加、動作環境の変更
2021.12.01	1.3.0.1	バージョンを表記するよう修正
2022.03.23	1.3.0.2	受信したファイルに G レコードが含まれる場合、不正データとして扱っていた不具合を修正 商品本体価格、訂正伝票番号が未設定のファイルを受信した際、変換エラーとなってしまう不具合を修正 ログ画面のレスポンス改善 (マニュアル変更なし)
2022.05.30	1.3.0.3	ネットワーク上のフォルダを連携用フォルダに指定できるよう修正 (マニュアル変更なし)
2022.07.08	1.3.0.4	自動受信の不具合を修正 (マニュアル変更なし)
2022.08.08	1.3.1.0	動作環境に Windows11 を追加 解像度によって画面レイアウトが崩れる不具合を修正 IJS21 で受信エラーが発生した際、途中までダウンロードしたデータが自動連携されない不具合を修正

## 目 次

自動連携の概要 .....	- 4 -
1. お使いになる前に .....	- 5 -
インターネット受発注システム 2021 自動連携サービスとは .....	- 5 -
動作環境 .....	- 6 -
2. インストール／アンインストール手順 .....	- 7 -
インストール手順 .....	- 7 -
アンインストール手順 .....	- 9 -
3. 操作説明 .....	- 11 -
プログラム起動 .....	- 11 -
メニュー .....	- 11 -
ログ画面 .....	- 12 -
設定画面 .....	- 14 -
自社設定 .....	- 14 -
本支店設定 .....	- 15 -
取引先設定 .....	- 16 -
発注送信設定 .....	- 18 -
蔵出受信設定 .....	- 21 -
納期回答受信設定 .....	- 24 -
請求受信設定 .....	- 27 -
発注受信設定 .....	- 31 -
蔵出送信設定 .....	- 34 -
納期回答送信設定 .....	- 37 -
請求送信設定 .....	- 40 -
変換方法の入力について .....	- 44 -
受信スケジュールの入力について .....	- 53 -

# 自動連携の概要



## 1. お使いになる前に

このマニュアルでは、インターネット受発注システム 2021 自動連携サービスのインストール方法や基本的な使い方を説明しています。

### インターネット受発注システム 2021 自動連携サービスとは

インターネット受発注システム 2021 自動連携サービス（以降、システム）は、以下の自動連携機能を有しています。

- ① 自社独自フォーマットのファイル内のデータを SEDIO 標準 128 バイト形式<sup>※</sup>のデータに自動変換し、SEDIO-VAN へ自動送信する機能
- ② SEDIO-VAN から SEDIO 標準 128 バイト形式<sup>※</sup>のデータを自動受信し、自社独自フォーマットのファイルへ自動変換する機能

自動連携可能な SEDIO のデータは以下の通りです。

発注データ	送信	○（電文タイプ 1 のみ）
	受信	○（電文タイプ 1 のみ）
蔵出データ	送信	○（電文タイプ 1 のみ）
	受信	○（電文タイプ 1 のみ）
納期回答データ	送信	○（電文タイプ 1 のみ）
	受信	○（電文タイプ 1 のみ）
請求照合データ	送信	○
	受信	○

※SEDIO 標準 128 バイト形式は以下を参照してください。

<http://www.bungu-navi.or.jp/downloads>

- ・発注・蔵出・納期回答・データフォーマット【タイプ 1・タイプ 2・タイプ 3】
- ・請求照合・支払照合・マニュアル（データフォーマット含む）

**動作環境**

システムをご利用になるには、次の環境が必要です。

OS	Windows 8.1 32bit Windows 8.1 64bit Windows 10 64bit (Version 2004、20H2、21H1) Windows 11 64bit (Version 21H2) Windows Server 2012 64bit Windows Server 2012 R2 64bit Windows Server 2016 64bit Windows Server 2019 64bit
インターネット環境	常時接続
その他	インターネット受発注システム 2021 がインストールされていること

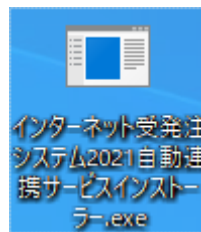
## 2. インストール／アンインストール手順

システムのインストール方法、およびアンインストール方法について説明します。

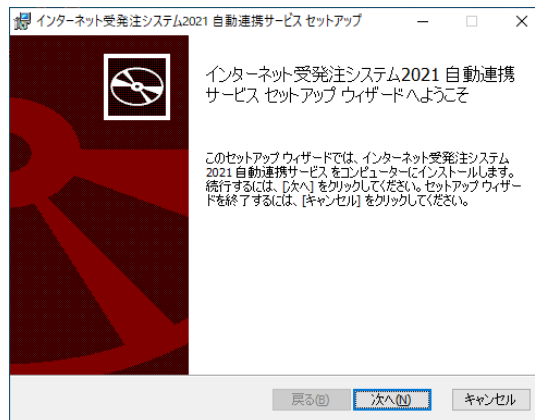
### インストール手順

インターネットに常時接続可能なコンピュータにインストールしてください。

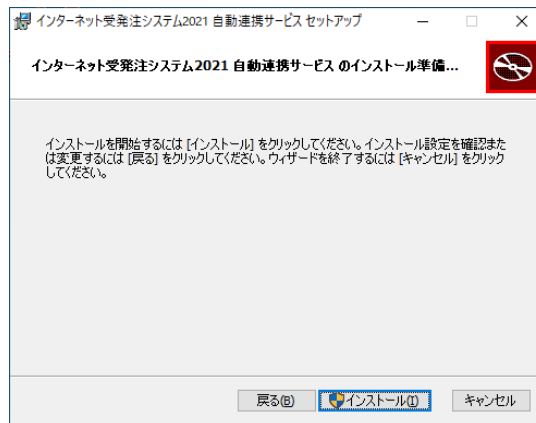
- ① 管理者権限のあるアカウントでログインし、任意の場所に置いたセットアップファイル「インターネット受発注システム 2021 自動連携サービスインストーラー.exe」をダブルクリックしてください。



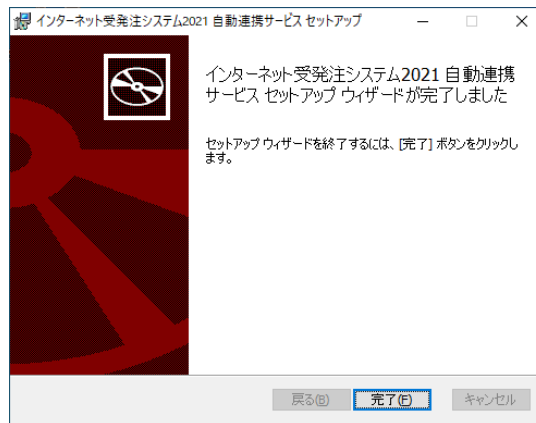
- ② インストーラが起動しますので、「次へ」をクリックしてください。



- ③ 確認画面が表示されますので、「次へ」をクリックしてください。インストールが開始されます。



- ④ 「完了」をクリックしてください。



以上でインストールは完了です。デスクトップにショートカットが作成されます。



また、スタートメニューに以下のメニューが作成されます。

・ SEDIO

インターネット受発注システム 2021 自動連携サービス

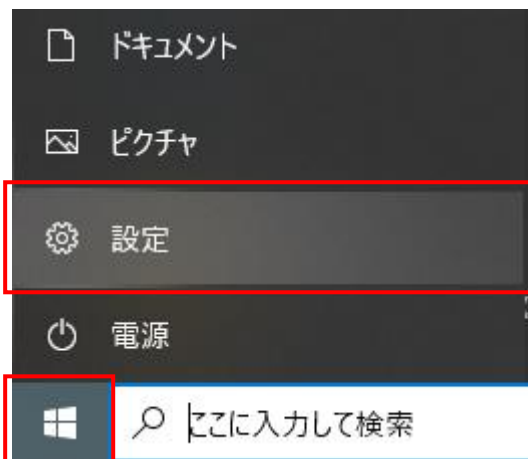
インストールが完了すると、[設定画面](#)が表示されますので変換設定を行ってください。



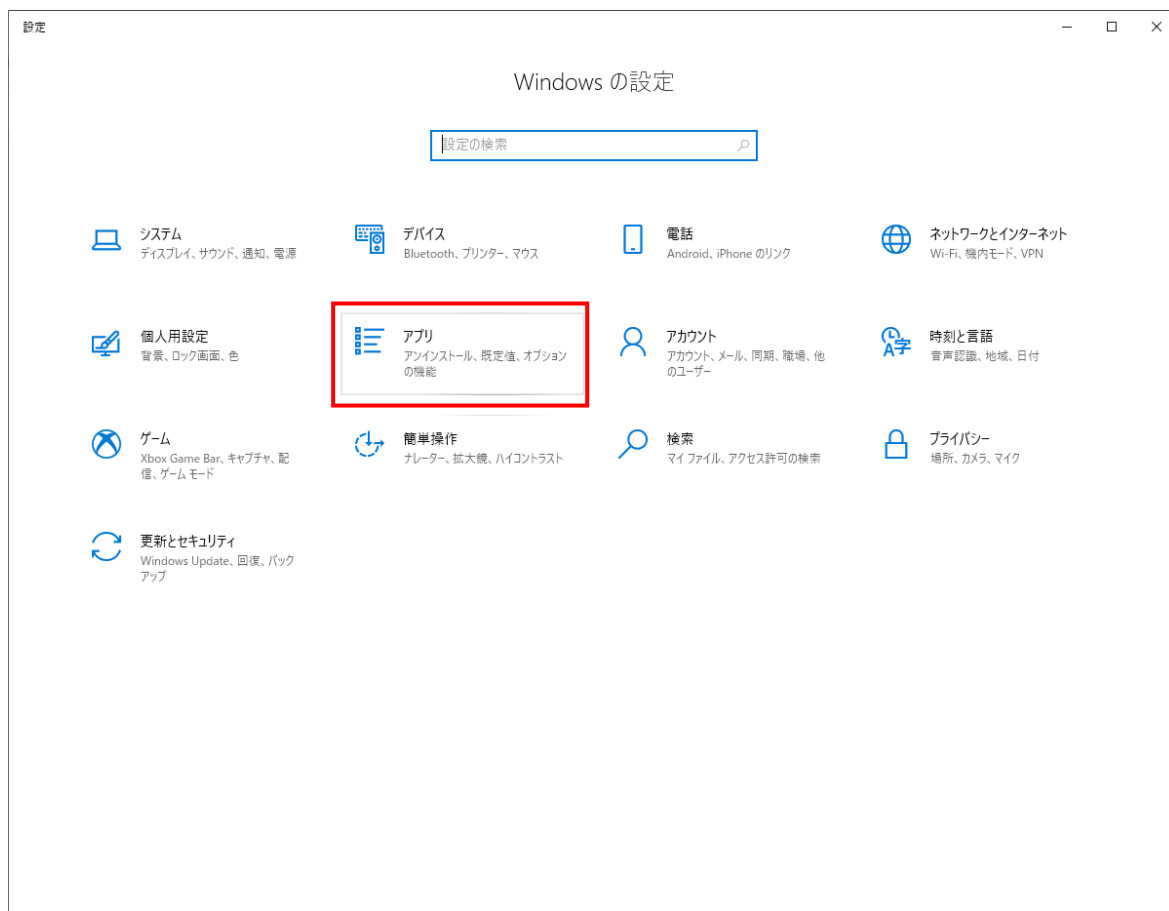
## アンインストール手順

システムが起動されている場合、タスクバーのアイコンを右クリックして表示されるメニューから「終了」をクリックしてシステムを終了してください。

- ① 「スタートメニュー」の「設定」をクリックしてください。

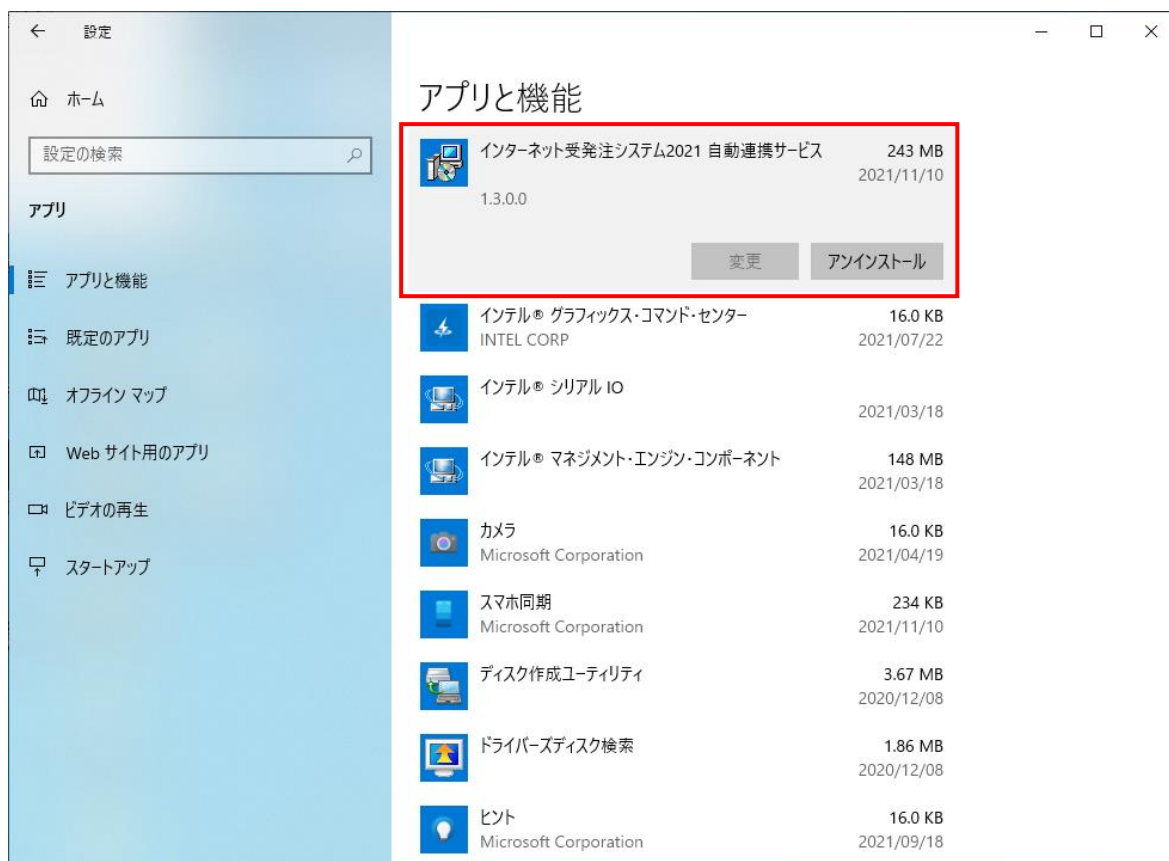


- ② 「アプリ」をクリックしてください。

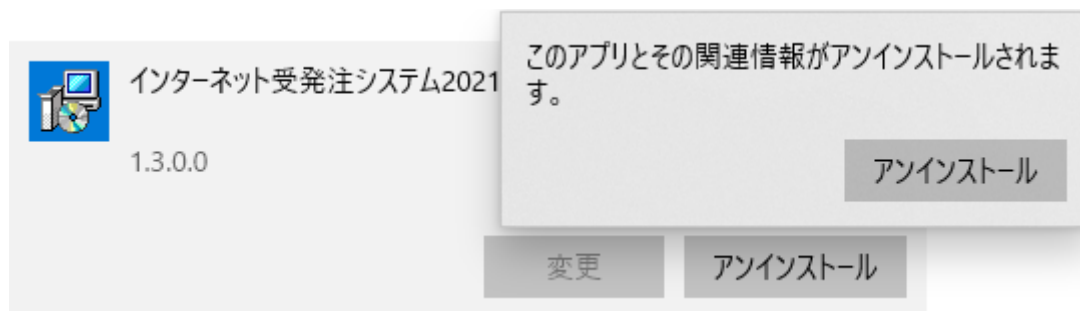


2. インストール／アンインストール手順 -アンインストール手順- 2 / 2

③ 「アプリと機能」画面の一覧から「インターネット受発注システム 2021 自動連携サービス」を選択し、「アンインストール」をクリックしてください。



④ 「アンインストール」をクリックしてください。アンインストールが開始されます。



以上でアンインストールは完了です。

## 3. 操作説明

システムの使い方について説明します。

### プログラム起動

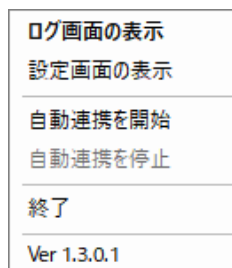
インストール後やコンピュータ起動時、自動的にシステムが起動され、タスクバーにアイコンが表示されます。



システムを終了した等で、タスクバーに表示されていない場合はデスクトップのショートカットまたは、スタートメニューから起動してください。

### メニュー

タスクバーのアイコンを右クリックすると以下のメニューが表示されます。



項目名	概要
ログ画面の表示	自動連携を行った結果（以下、ログ）を一覧で表示します。詳細については <a href="#">ログ画面</a> を参照してください。
設定画面の表示	自動連携に必要な各種設定を行う画面を表示します。詳細については <a href="#">設定画面</a> を参照してください。
自動連携を開始	自動連携機能を開始します。 ※設定画面にて自動連携に必要な設定を行わないと自動連携されません。
自動連携を停止	自動連携機能を停止します。システムは終了しません。
終了	システムを終了します。自動連携機能も停止します。

## ログ画面

ログを一覧で確認できる画面です。メニューの「ログ画面の表示」をクリックするか、タスクバーのアイコンをダブルクリックすると表示されます。

ログは 30 日間を過ぎると自動で削除されます。



項番	項目名	説明
①	ログ種類	自動連携を試みた結果によってログを絞り込んで一覧に表示します。以下のいずれかから選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・正常…正常に自動連携された時のログを表示します。</li> <li>・警告…自動連携は正常に行われたが、ファイルの退避に失敗した時のログを表示します。</li> <li>・異常…自動連携時に何らかのエラーが発生した時のログを表示します。</li> </ul>
②	送信/受信	自動連携の結果のログを送信または受信で絞り込んで一覧に表示します。
③	期間	ログを期間で絞り込んで一覧に表示します。以下のいずれかから選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべて…すべてのログを表示します。</li> <li>・過去 24 時間…過去 24 時間で発生したログを表示します。</li> <li>・過去 7 日間…過去 7 日間で発生したログを表示します。</li> <li>・期間指定…ログが発生した期間を指定して表示します。</li> </ul>
④	データ種別	ログを SEDIO のデータ種別（発注、蔵出等）で絞り込んで一覧に表示します。

項番	項目名	説明
⑤	一覧	<p>ログが一覧で表示されます。各項目の内容は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・日時…ログの発生日時です。</li><li>・データ種別…自動連携を試みた SEDIO のデータ種別（発注、蔵出等）が表示されます。</li><li>・送信/受信…送信、受信のいずれかが表示されます。</li><li>・ログ種類…正常、警告、異常のいずれかが表示されます。 それぞれの意味は、①を参照してください。</li><li>・内容…ログの内容が表示されます。正常以外のログの場合、ログの内容に従って何らかの対処を行ってください。</li></ul>

## 設定画面

自動連携に必要な各種設定を行う画面です。メニューの「設定画面の表示」をクリックすると表示されます。また、インストール後にも自動で表示されます。

### 自社設定

自社に対応する SEDIO の共通取引先コード(6桁)、支店コード(2桁)を設定してください。

項番	項目名	説明
①	共通取引先コード	SEDIO の共通取引先コード(6桁)を入力してください。
②	支店コード	SEDIO の支店コード(2桁)を入力してください。

## 本支店設定

自社システムで使用している本支店コードと SEDIO に登録されている支店コードの紐づけを設定してください。本店・支店の別がない場合や本店・支店ごとに端末を用意する場合は、本支店設定は必要ありません。

※本店・支店に対応する共通取引先コード(6桁)・支店コード(2桁)の組合せが SEDIO に登録されている必要があります。

項番	項目名	説明
①	削除	入力した行を削除する場合にクリックしてください。
②	自社システムでの本支店コード	自社システムで使用している本支店コードを入力してください。
③	SEDIO での支店コード	②に対応する SEDIO の支店コード(2桁)を入力してください。

## 取引先設定

自社システムで使用している取引先コードと SEDI0 に登録されている共通取引先コード(6桁)、支店コード(2桁)の紐づけを設定してください。

項番	項目名	説明
①	削除	入力した行を削除する場合にクリックしてください。
②	自社システムでの取引先コード	自社システムで使用している取引先コードを入力してください。
③	送信先	②が送信先の場合、チェック ON にしてください。
④	得意先または納入先	②が得意先または納入先の場合、チェック ON にしてください。
⑤	仕入先	②が仕入先の場合、チェック ON にしてください。
⑥	請求先	②が請求先の場合、チェック ON にしてください。
⑦	支払先	②が支払先の場合、チェック ON にしてください。
⑧	SEDI0 での共通取引先コード	②に対応する SEDI0 の共通取引先コード(6桁)を入力してください。
⑨	SEDI0 での支店コード	②に対応する SEDI0 の支店コード(2桁)を入力してください。



項番	項目名	説明
⑩	請求照合単位	②が請求先の場合、伝票単位・明細単位のいずれかを指定してください。 <ul style="list-style-type: none"><li>・伝票単位…請求先に対して伝票単位の請求照合データが送信されます。</li><li>・明細単位…請求先に対して明細単位の請求照合データが送信されます。</li></ul>
⑪	税率毎請求分割	②が請求先の場合、する・しないのいずれかを指定してください。 <ul style="list-style-type: none"><li>・する…標準税率分と軽減税率分とが分割された請求照合データが送信されます。</li><li>・しない…標準税率分と軽減税率分が混在した請求照合データが送信されます。</li></ul>

## 発注送信設定

自社システムから出力したデータ（以下、自社データ）を SEDI0 発注データに変換する方法を設定してください。

項番	項目名	説明
①	自動連携する	自社データを発注データに自動変換・送信する場合、チェック ON にしてください。
②	サンプル読込	自社データのサンプルファイルを指定する際に使用します。
③	データ行開始位置	自社データにヘッダ行がある場合、データ行の開始位置を入力してください。ヘッダ行がない場合は 1 を入力してください。
④	自社データレイアウト	②で読み込んだサンプルの内容が表示されます。
⑤	取引先設定にない仕入先をエラーとする	自動連携時、 <a href="#">取引先設定</a> で設定されていない仕入先をエラー扱いとする場合、チェック ON にしてください。 チェック OFF にした場合、上記の仕入先が含まれる伝票は無視されます。

項番	項目名	説明
⑥	マッピング&変換 設定一覧	<p>自社データを SEDIO 標準 128 バイトデータに変換する設定が一覧で表示されます。各項目の内容は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・項目名…SEDIO 標準 128 バイトデータでの項目名が表示されます。クリックして変換方法を 入力してください。ただし、以下の項目は名称を変更しています。 最終送信先コード→送信先 (相手先の共通取引先コード) 発注企業コード→得意先または納入先 (自社の共通取引先コード) 受注企業コード→仕入先 (相手先の共通取引先コード) 数量→発注数量</li> <li>・属性…SEDIO 標準 128 バイトデータでの属性に応じて、 文字、数字、日付のいずれかが表示されます。</li> <li>・桁数…SEDIO 標準 128 バイトデータでの桁数が 表示されます。</li> <li>・必須区分…SEDIO 標準 128 バイトデータに必須の項目かどうかが表示されます。 空白であれば任意の項目ということです。</li> <li>・設定状況…変換の設定がされているかどうか 表示されます。 空白であれば未設定ということです。</li> </ul> <p><a href="#">変換方法</a>を設定してください。</p>
⑦	監視用フォルダ設定	<p>自社データの格納先を指定してください。システムでは、このフォルダにファイルが格納されたことを検知して自動連携を行います。</p>
⑧	処理済用フォルダ設定	<p>自動連携が正常に行われたファイルの格納先を指定してください。</p>
⑨	エラー用フォルダ設定	<p>自動連携の結果、エラーとなったファイルの格納先を指定してください。</p>

## 発注送信設定の変換項目一覧

No.	項目名	属性	桁数	必須区分
1	データ区分	数字	2	必須
2	取引区分	文字	2	必須
3	送信先 (相手先の共通取引先コード)	数字	8	必須
4	発注番号	文字	8	必須
5	発注行番号	数字	2	必須
6	発注日	日付	6	必須
7	得意先または納入先 (自社の共通取引先コード)	数字	8	
8	仕入先 (相手先の共通取引先コード)	数字	8	
9	日付区分	文字	1	必須
10	日付	日付	6	必須
11	直送先コード	文字	10	
12	伝票区分	文字	2	
13	JAN コード	文字	13	商品品番・記号と どちらか必須
14	コード区分	文字	1	必須
15	商品品番・記号	文字	20	JAN コードと どちらか必須
16	商品本体価格	数字	8	必須
17	発注数量	数字	7	必須
18	単位	文字	3	
19	単価	数字	8(小数部2)	
20	金額	数字	9	
21	明細摘要	文字	10	

## 蔵出受信設定

SEDIO-VAN から蔵出データを受信するタイミング、および自社データへの変換方法を設定してください。

項番	項目名	説明
①	自動連携する	SEDIO 蔵出データを自動受信して自社データに自動変換する場合、チェック ON にしてください。
②	スケジュール設定	SEDIO 蔵出データを <a href="#">自動受信するスケジュール</a> を設定してください。  ※蔵出データの受信スケジュールと納期回答の受信スケジュールは共通です。
③	SEDIO 標準データレイアウト	SEDIO 蔵出データの項目が表示されます。 ただし、以下の項目は名称を変更しています。 最終送信先コード→送信先(自社の共通取引先コード) 発注企業コード→得意先または納入先 (自社の共通取引先コード) 受注企業コード→仕入先(相手先の共通取引先コード) 伝票日出荷予定日→伝票日 数量→納入数量

項番	項目名	説明
④	取引先設定にない仕入先をエラーとする	自動連携時、 <a href="#">取引先設定</a> で設定されていない仕入先をエラー扱いとする場合、チェック ON にしてください。 チェック OFF にした場合、上記の仕入先が含まれる伝票は無視されます。
⑤	データ項目数	自社データ内の項目の数を入力してください。
⑥	データ行開始位置	自社データにヘッダ行を出力する場合、データ行の開始位置を入力してください。ヘッダ行を出力しない場合は1を入力してください。
⑦	マッピング&変換設定一覧	SEDI0 標準 128 バイトデータを自社データに変換する設定が一覧で表示されます。各項目の内容は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・項目 N…自社データで何番目の項目かが表示されます。 クリックして変換方法を入力してください。</li> <li>・設定状況…変換の設定がされているかどうかが表示されます。 空白であれば未設定ということです。</li> </ul> <a href="#">変換方法</a> を設定してください。
⑧	受信用フォルダ設定	自動連携が正常に行われたファイルの格納先を指定してください。
⑨	エラー用フォルダ設定	自動連携の結果、エラーとなったファイルの格納先を指定してください。

## 蔵出受信設定の SEDIO 標準データレイアウト項目一覧

No.	項目名	属性	桁数
1	データ種別	数字	2
2	データ区分	数字	2
3	取引区分	文字	2
4	送信先 (自社の共通取引先コード)	数字	8
5	発注番号	文字	8
6	発注行番号	数字	2
7	発注日	日付	6
8	伝票番号	数字	8
9	伝票行番号	数字	2
10	得意先または納入先 (自社の共通取引先コード)	数字	8
11	仕入先 (相手先の共通取引先コード)	数字	8
12	日付区分	文字	1
13	日付	日付	6
14	直送先コード	文字	10
15	伝票区分	文字	2
16	訂正伝票番号	数字	8
17	伝票日	日付	6
18	JAN コード	文字	13
19	コード区分	文字	1
20	商品品番・記号	文字	20
21	商品本体価格	数字	8
22	納入数量	数字	7
23	単位	文字	3
24	単価	数字	8(小数部2)
25	金額	数字	9
26	明細摘要	文字	10

## 納期回答受信設定

SEDIO-VAN から納期回答データを受信するタイミング、および自社データへの変換方法を設定してください。

項番	項目名	説明
①	自動連携する	SEDIO 納期回答データを自動受信して自社データに自動変換する場合、チェック ON にしてください。
②	スケジュール設定	SEDIO 納期回答データを <a href="#">自動受信するスケジュール</a> を設定してください。  ※蔵出データの受信スケジュールと納期回答の受信スケジュールは共通です。
③	SEDIO 標準データレイアウト	SEDIO 納期回答データの項目が表示されます。 ただし、以下の項目は名称を変更しています。 最終送信先コード→送信先(自社の共通取引先コード) 発注企業コード→得意先または納入先 (自社の共通取引先コード) 受注企業コード→仕入先(相手先の共通取引先コード) 伝票日出荷予定日→出荷予定日 数量→納入数量



項番	項目名	説明
④	取引先設定にない仕入先をエラーとする	自動連携時、 <a href="#">取引先設定</a> で設定されていない仕入先をエラー扱いとする場合、チェック ON にしてください。 チェック OFF にした場合、上記の仕入先が含まれる伝票は無視されます。
⑤	データ項目数	自社データ内の項目の数を入力してください。
⑥	データ行開始位置	自社データにヘッダ行を出力する場合、データ行の開始位置を入力してください。ヘッダ行を出力しない場合は 1 を入力してください。
⑦	マッピング&変換設定一覧	SEDI0 標準 128 バイトデータを自社データに変換する設定が一覧で表示されます。各項目の内容は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・項目 N…自社データで何番目の項目かが表示されます。 クリックして変換方法を入力してください。</li> <li>・設定状況…変換の設定がされているかどうかが表示されます。 空白であれば未設定ということです。</li> </ul> <a href="#">変換方法</a> を設定してください。
⑧	受信用フォルダ設定	自動連携が正常に行われたファイルの格納先を指定してください。
⑨	エラー用フォルダ設定	自動連携の結果、エラーとなったファイルの格納先を指定してください。

## 納期回答受信設定の SEDIO 標準データレイアウト項目一覧

No.	項目名	属性	桁数
1	データ区分	数字	2
2	取引区分	文字	2
3	送信先 (相手先の共通取引先コード)	数字	8
4	発注番号	文字	8
5	発注行番号	数字	2
6	発注日	日付	6
7	得意先または納入先 (相手先の共通取引先コード)	数字	8
8	仕入先 (自社の共通取引先コード)	数字	8
9	日付区分	文字	1
10	日付	日付	6
11	直送先コード	文字	10
12	伝票区分	文字	2
13	出荷予定日	日付	6
14	JAN コード	文字	13
15	コード区分	文字	1
16	商品品番・記号	文字	20
17	商品本体価格	数字	8
18	納入数量	数字	7
19	単位	文字	3
20	単価	数字	8(小数部2)
21	金額	数字	9
22	明細摘要	文字	10

## 請求受信設定

SEDIO-VAN から請求照合データを受信するタイミング、および自社データへの変換方法を設定してください。

項番	項目名	説明
①	自動連携する	SEDIO 請求照合データを自動受信して自社データに自動変換する場合、チェック ON にしてください。
②	スケジュール設定	SEDIO 請求照合データを <a href="#">自動受信するスケジュール</a> を設定してください。
③	SEDIO 標準データレイアウト	SEDIO 請求照合データの項目が表示されます。 ただし、以下の項目は名称を変更しています。 最終送信先コード→送信先(自社の共通取引先コード) 支払企業コード→請求先(自社の共通取引先コード) 請求企業コード→支払先(相手先の共通取引先コード) 発注企業コード→得意先または納入先 (自社の共通取引先コード) 受注企業コード→仕入先(相手先の共通取引先コード) 数量→納入数量
④	取引先設定にない支払先をエラーとする	自動連携時、 <a href="#">取引先設定</a> で設定されていない支払先をエラー扱いとする場合、チェック ON にしてください。 チェック OFF にした場合、上記の支払先が含まれる伝票は無視されます。

項番	項目名	説明
⑤	データ項目数	自社データ内の項目の数を入力してください。
⑥	データ行開始位置	自社データにヘッダ行を出力する場合、データ行の開始位置を入力してください。ヘッダ行を出力しない場合は1を入力してください。
⑦	マッピング&変換 設定一覧	<p>SEDI0 標準 128 バイトデータを自社データに変換する設定が一覧で表示されます。各項目の内容は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・項目 N…自社データで何番目の項目かが表示されます。 クリックして変換方法を入力してください。</li> <li>・設定状況…変換の設定がされているかどうかが表示されます。 空白であれば未設定ということです。</li> </ul> <p><a href="#">変換方法</a>を設定してください。</p>
⑧	受信用フォルダ設定	自動連携が正常に行われたファイルの格納先を指定してください。
⑨	エラー用フォルダ設定	自動連携の結果、エラーとなったファイルの格納先を指定してください。

## 請求受信設定の SEDIO 標準データレイアウト項目一覧

No.	項目名	属性	桁数
1	データ区分	数字	2
2	送信先 (自社の共通取引先コード)	数字	8
3	請求先 (自社の共通取引先コード)	数字	8
4	支払先 (相手先の共通取引先コード)	数字	8
5	請求開始日付	日付	6
6	請求締切日付	日付	6
7	前回請求	数字	10
8	入金その他	数字	10
9	今回取引	数字	10
10	消費税	数字	10
11	今回請求	数字	10
12	合計取引金額	数字	10
13	合計消費税額	数字	10
14	標準取引金額	数字	10
15	標準消費税額	数字	10
16	合計調整項目金額 1	数字	10
17	合計調整項目コメント 1	文字	10
18	合計調整項目金額 2	数字	10
19	合計調整項目コメント 2	文字	10
20	取引区分	文字	2
21	発注番号	文字	8
22	発注行番号	数字	2
23	発注日	日付	6
24	伝票番号	数字	8
25	伝票行番号	数字	2
26	伝票日	日付	6
27	得意先または納入先 (自社の共通取引先コード)	数字	8
28	仕入先 (相手先の共通取引先コード)	数字	8
29	日付区分	文字	1
30	日付	日付	6
31	直送先コード	文字	10
32	伝票区分	文字	2
33	訂正伝票番号	数字	8
34	伝票金額	数字	9
35	伝票消費税額	数字	9
36	軽減税率伝票区分	文字	1

## 3. 操作説明 -設定画面(請求受信設定)- 4 / 4

No.	項目名	属性	桁数
37	JAN コード	文字	13
38	コード区分	文字	1
39	商品品番・記号	文字	20
40	商品本体価格	数字	8
41	納入数量	数字	7
42	単位	文字	3
43	単価	数字	8(小数部2)
44	金額	数字	9
45	明細摘要	文字	10
46	軽減税率商品区分	文字	1

## 発注受信設定

SEDIO-VAN から発注データを受信するタイミング、および自社データへの変換方法を設定してください。

項番	項目名	説明
①	自動連携する	SEDIO 発注データを自動受信して自社データに自動変換する場合、チェック ON にしてください。
②	スケジュール設定	SEDIO 発注データを <a href="#">自動受信するスケジュール</a> を設定してください。
③	SEDIO 標準データレイアウト	SEDIO 発注データの項目が表示されます。 ただし、以下の項目は名称を変更しています。 最終送信先コード→送信先(自社の共通取引先コード) 発注企業コード→得意先または納入先 (相手先の共通取引先コード) 受注企業コード→仕入先(自社の共通取引先コード) 数量→発注数量
④	取引先設定にない得意先または納入先をエラーとする	自動連携時、 <a href="#">取引先設定</a> で設定されていない得意先または納入先をエラー扱いとする場合、チェック ON にしてください。 チェック OFF にした場合、上記の得意先または納入先が含まれる伝票は無視されます。
⑤	データ項目数	自社データ内の項目の数を入力してください。

項番	項目名	説明
⑥	データ行開始位置	自社データにヘッダ行を出力する場合、データ行の開始位置を入力してください。ヘッダ行を出力しない場合は1を入力してください。
⑦	マッピング&変換設定一覧	<p>SEDIO 標準 128 バイトデータを自社データに変換する設定が一覧で表示されます。各項目の内容は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・項目 N…自社データで何番目の項目かが表示されます。 クリックして変換方法を入力してください。</li> <li>・設定状況…変換の設定がされているかどうかが表示されます。 空白であれば未設定ということです。</li> </ul> <p><a href="#">変換方法</a>を設定してください。</p>
⑧	受信用フォルダ設定	自動連携が正常に行われたファイルの格納先を指定してください。
⑨	エラー用フォルダ設定	自動連携の結果、エラーとなったファイルの格納先を指定してください。



## 発注受信設定の SEDIO 標準データレイアウト項目一覧

No.	項目名	属性	桁数
1	データ区分	数字	2
2	取引区分	文字	2
3	送信先 (自社の共通取引先コード)	数字	8
4	発注番号	文字	8
5	発注行番号	数字	2
6	発注日	日付	6
7	得意先または納入先 (相手先の共通取引先コード)	数字	8
8	仕入先 (自社の共通取引先コード)	数字	8
9	日付区分	文字	1
10	日付	日付	6
11	直送先コード	文字	10
12	伝票区分	文字	2
13	JAN コード	文字	13
14	コード区分	文字	1
15	商品品番・記号	文字	20
16	商品本体価格	数字	8
17	発注数量	数字	7
18	単位	文字	3
19	単価	数字	8(小数部2)
20	金額	数字	9
21	明細摘要	文字	10

## 蔵出送信設定

自社データを SEDIO 蔵出データに変換する方法を設定してください。

設定

**変換設定**

自社データとSEDIO標準データとを相互に変換する設定を行い、画面右下の「完了」ボタンをクリックしてください。

本支店設定 | 取引先設定 | 発注送信設定 | 蔵出受信設定 | 納期回答受信設定 | 請求受信設定 | 発注受信設定 | 蔵出送信設定 | 納期

自動連携する

② サンプル読込

データ行開始位置: ③ 1

④

SEDIO標準データレイアウトへのマッピング&変換設定

取引先設定にない得意先または納入先をエラーとする

項目名	属性	桁数	必須区分	設定状況
データ種別	数字	2	必須	
データ区分	数字	2	必須	
取引区分	文字	2	必須	
送信先(相手先の共通取引先コード)	数字	8	必須	
発注番号	文字	8	必須	
発注行番号	数字	2		
発注日	日付	6		

監視用フォルダ (データ連携するファイルの格納先 ※他のフォルダと重複不可) ⑦ 設定

処理済用フォルダ(データ連携正常ファイルの格納先 ※他のフォルダと重複不可) ⑧ 設定

エラー用フォルダ(データ連携異常ファイルの格納先 ※他のフォルダと重複不可) ⑨ 設定

キャンセル 戻る 完了

項番	項目名	説明
①	自動連携する	自社データを蔵出データに自動変換・送信する場合、チェック ON にしてください。
②	サンプル読込	自社データのサンプルファイルを指定する際に使用します。
③	データ行開始位置	自社データにヘッダ行がある場合、データ行の開始位置を入力してください。ヘッダ行がない場合は1を入力してください。
④	自社データレイアウト	②で読み込んだサンプルの内容が表示されます。
⑤	取引先設定にない得意先または納入先をエラーとする	自動連携時、 <a href="#">取引先設定</a> で設定されていない得意先または納入先をエラー扱いとする場合、チェック ON にしてください。チェック OFF にした場合、上記の得意先または納入先が含まれる伝票は無視されます。

項番	項目名	説明
⑥	マッピング&変換 設定一覧	<p>自社データを SEDIO 標準 128 バイトデータに変換する設定が一覧で表示されます。各項目の内容は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・項目名…SEDIO 標準 128 バイトデータでの項目名が表示されます。クリックして変換方法を<input type="text"/>入力してください。ただし、以下の項目は名称を変更しています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>最終送信先コード→送信先 (相手先の共通取引先コード)</li> <li>発注企業コード→得意先または納入先 (相手先の共通取引先コード)</li> <li>受注企業コード→仕入先 (自社の共通取引先コード)</li> <li>伝票日出荷予定日→伝票日</li> <li>数量→納入数量</li> </ul> </li> <li>・属性…SEDIO 標準 128 バイトデータでの属性に応じて、文字、数字、日付のいずれかが表示されます。</li> <li>・桁数…SEDIO 標準 128 バイトデータでの桁数が表示されます。</li> <li>・必須区分…SEDIO 標準 128 バイトデータに必須の項目かどうかが表示されます。 空白であれば任意の項目ということです。</li> <li>・設定状況…変換の設定がされているかどうかが表示されます。 空白であれば未設定ということです。</li> </ul> <p><a href="#">変換方法</a>を設定してください。</p>
⑦	監視用フォルダ設定	<p>自社データの格納先を指定してください。システムでは、このフォルダにファイルが格納されたことを検知して自動連携を行います。</p>
⑧	処理済用フォルダ設定	<p>自動連携が正常に行われたファイルの格納先を指定してください。</p>
⑨	エラー用フォルダ設定	<p>自動連携の結果、エラーとなったファイルの格納先を指定してください。</p>

## 蔵出送信設定の変換項目一覧

No.	項目名	属性	桁数	必須区分
1	データ種別	数字	2	必須
2	データ区分	数字	2	必須
3	取引区分	文字	2	必須
4	送信先 (相手先の共通取引先コード)	数字	8	必須
5	発注番号	文字	8	必須
6	発注行番号	数字	2	
7	発注日	日付	6	
8	伝票番号	数字	8	必須
9	伝票行番号	数字	2	必須
10	得意先または納入先 (相手先の共通取引先コード)	数字	8	
11	仕入先 (自社の共通取引先コード)	数字	8	
12	日付区分	文字	1	必須
13	日付	日付	6	必須
14	直送先コード	文字	10	
15	伝票区分	文字	2	
16	訂正伝票番号	数字	8	
17	伝票日	日付	6	必須
18	JAN コード	文字	13	商品品番・記号と どちらか必須
19	コード区分	文字	1	必須
20	商品品番・記号	文字	20	JAN コードと どちらか必須
21	商品本体価格	数字	8	必須
22	納入数量	数字	7	必須
23	単位	文字	3	
24	単価	数字	8(小数部2)	必須
25	金額	数字	9	必須
26	明細摘要	文字	10	

## 納期回答送信設定

自社データを SEDIO 納期回答データに変換する方法を設定してください。

項番	項目名	説明
①	自動連携する	自社データを納期回答データに自動変換・送信する場合、チェック ON にしてください。
②	サンプル読込	自社データのサンプルファイルを指定する際に使用します。
③	データ行開始位置	自社データにヘッダ行がある場合、データ行の開始位置を入力してください。ヘッダ行がない場合は1を入力してください。
④	自社データレイアウト	②で読み込んだサンプルの内容が表示されます。
⑤	取引先設定にない得意先または納入先をエラーとする	自動連携時、 <a href="#">取引先設定</a> で設定されていない得意先または納入先をエラー扱いとする場合、チェック ON にしてください。チェック OFF にした場合、上記の得意先または納入先が含まれる伝票は無視されます。

項番	項目名	説明
⑥	マッピング&変換 設定一覧	<p>自社データを SEDIO 標準 128 バイトデータに変換する設定が一覧で表示されます。各項目の内容は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・項目名…SEDIO 標準 128 バイトデータでの項目名が表示されます。クリックして変換方法を 入力してください。ただし、以下の項目は名称を変更しています。 最終送信先コード→送信先 (相手先の共通取引先コード) 発注企業コード→得意先または納入先 (相手先の共通取引先コード) 受注企業コード→仕入先 (自社の共通取引先コード) 伝票日出荷予定日→出荷予定日 数量→納入数量</li> <li>・属性…SEDIO 標準 128 バイトデータでの属性に応じて、文字、数字、日付のいずれかが表示されます。</li> <li>・桁数…SEDIO 標準 128 バイトデータでの桁数が表示されます。</li> <li>・必須区分…SEDIO 標準 128 バイトデータに必須の項目かどうかが表示されます。 空白であれば任意の項目ということです。</li> <li>・設定状況…変換の設定がされているかどうかが表示されます。 空白であれば未設定ということです。</li> </ul> <p><a href="#">変換方法</a>を設定してください。</p>
⑦	監視用フォルダ設定	自社データの格納先を指定してください。システムでは、このフォルダにファイルが格納されたことを検知して自動連携を行います。
⑧	処理済用フォルダ設定	自動連携が正常に行われたファイルの格納先を指定してください。
⑨	エラー用フォルダ設定	自動連携の結果、エラーとなったファイルの格納先を指定してください。

## 納期回答送信設定の変換項目一覧

No.	項目名	属性	桁数	必須区分
1	データ区分	数字	2	必須
2	取引区分	文字	2	必須
3	送信先 (相手先の共通取引先コード)	数字	8	必須
4	発注番号	文字	8	必須
5	発注行番号	数字	2	
6	発注日	日付	6	
7	得意先または納入先 (相手先の共通取引先コード)	数字	8	
8	仕入先 (自社の共通取引先コード)	数字	8	
9	日付区分	文字	1	必須
10	日付	日付	6	必須
11	直送先コード	文字	10	
12	伝票区分	文字	2	
13	出荷予定日	日付	6	
14	JAN コード	文字	13	商品品番・記号と どちらか必須
15	コード区分	文字	1	必須
16	商品品番・記号	文字	20	JAN コードと どちらか必須
17	商品本体価格	数字	8	
18	納入数量	数字	7	
19	単位	文字	3	
20	単価	数字	8(小数部2)	
21	金額	数字	9	
22	明細摘要	文字	10	

## 請求送信設定

自社データを SEDIO 請求照合データに変換する方法を設定してください。

項番	項目名	説明
①	自動連携する	自社データを請求照合データに自動変換・送信する場合、チェック ON にしてください。
②	サンプル読込	自社データのサンプルファイルを指定する際に使用します。
③	データ行開始位置	自社データにヘッダ行がある場合、データ行の開始位置を入力してください。ヘッダ行がない場合は1を入力してください。
④	自社データレイアウト	②で読み込んだサンプルの内容が表示されます。
⑤	取引先設定にない請求先をエラーとする	自動連携時、 <a href="#">取引先設定</a> で設定されていない請求先をエラー扱いとする場合、チェック ON にしてください。 チェック OFF にした場合、上記の請求先が含まれる伝票は無視されます。



項番	項目名	説明
⑥	マッピング&変換 設定一覧	<p>自社データを SEDIO 標準 128 バイトデータに変換する設定が一覧で表示されます。各項目の内容は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・項目名…SEDIO 標準 128 バイトデータでの項目名が表示されます。クリックして変換方法を 入力してください。ただし、以下の項目は名称を変更しています。</li> <li>最終送信先コード→送信先 (相手先の共通取引先コード)</li> <li>支払企業コード→請求先 (相手先の共通取引先コード)</li> <li>請求企業コード→支払先 (自社の共通取引先コード)</li> <li>発注企業コード→得意先または納入先 (相手先の共通取引先コード)</li> <li>受注企業コード→仕入先 (自社の共通取引先コード)</li> <li>数量→納入数量</li> <li>・属性…SEDIO 標準 128 バイトデータでの属性に応じて、 文字、数字、日付のいずれかが表示されます。</li> <li>・桁数…SEDIO 標準 128 バイトデータでの桁数が 表示されます。</li> <li>・必須区分…SEDIO 標準 128 バイトデータに必須の項目か どうかが表示されます。 空白であれば任意の項目ということです。</li> <li>・設定状況…変換の設定がされているかどうか 表示されます。 空白であれば未設定ということです。</li> </ul> <p><a href="#">変換方法</a>を設定してください。</p>
⑦	監視用フォルダ設定	<p>自社データの格納先を指定してください。システムでは、このフォルダにファイルが格納されたことを検知して自動連携を行います。</p>
⑧	処理済用フォルダ設定	<p>自動連携が正常に行われたファイルの格納先を指定してください。</p>
⑨	エラー用フォルダ設定	<p>自動連携の結果、エラーとなったファイルの格納先を指定してください。</p>

## 請求送信設定の変換項目一覧

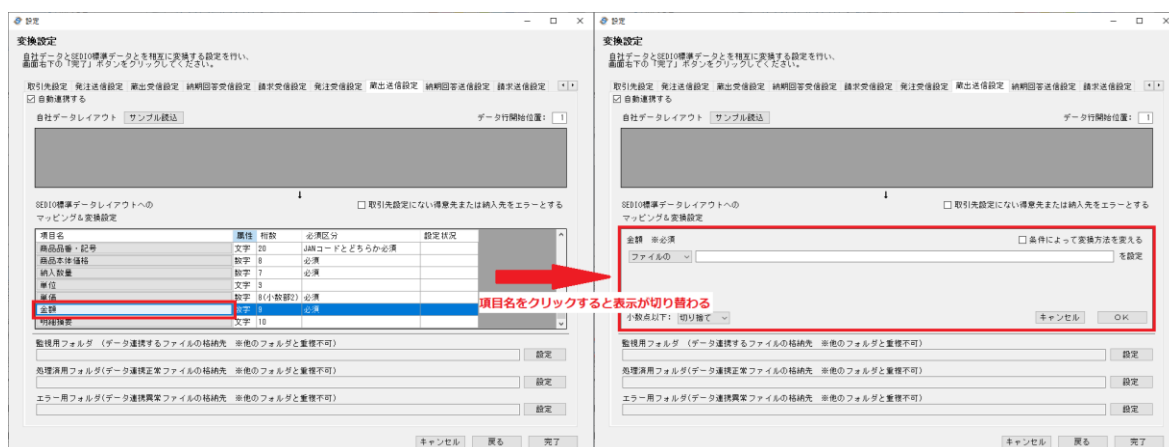
No.	項目名	属性	桁数	必須区分
1	データ区分	数字	2	必須
2	送信先 (相手先の共通取引先コード)	数字	8	必須
3	請求先 (相手先の共通取引先コード)	数字	8	必須
4	支払先 (自社の共通取引先コード)	数字	8	
5	請求開始日付	日付	6	必須
6	請求締切日付	日付	6	必須
7	前回請求	数字	10	
8	入金その他	数字	10	
9	今回取引	数字	10	
10	消費税	数字	10	
11	今回請求	数字	10	
12	合計取引金額	数字	10	必須
13	合計消費税額	数字	10	
14	標準取引金額	数字	10	必須
15	標準消費税額	数字	10	
16	合計調整項目金額 1	数字	10	
17	合計調整項目コメント 1	文字	10	
18	合計調整項目金額 2	数字	10	
19	合計調整項目コメント 2	文字	10	
20	取引区分	文字	2	必須
21	発注番号	文字	8	
22	発注行番号	数字	2	
23	発注日	日付	6	
24	伝票番号	数字	8	必須
25	伝票行番号	数字	2	
26	伝票日	日付	6	必須
27	得意先または納入先 (相手先の共通取引先コード)	数字	8	
28	仕入先 (自社の共通取引先コード)	数字	8	
29	日付区分	文字	1	
30	日付	日付	6	
31	直送先コード	文字	10	
32	伝票区分	文字	2	
33	訂正伝票番号	数字	8	
34	伝票金額	数字	9	
35	伝票消費税額	数字	9	

## 3. 操作説明 -設定画面(請求送信設定)- 4 / 4

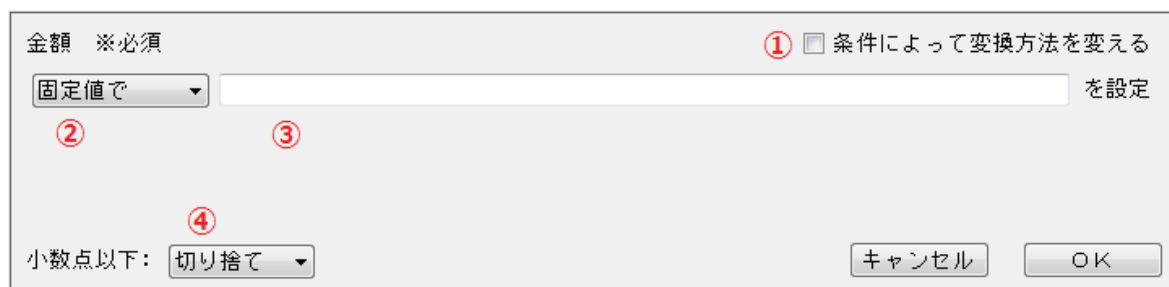
No.	項目名	属性	桁数	必須区分
36	軽減税率伝票区分	文字	1	
37	JANコード	文字	13	
38	コード区分	文字	1	
39	商品品番・記号	文字	20	
40	商品本体価格	数字	8	
41	納入数量	数字	7	
42	単位	文字	3	
43	単価	数字	8(小数部2)	
44	金額	数字	9	
45	明細摘要	文字	10	
46	軽減税率商品区分	文字	1	

## 変換方法の入力について

マッピング&変換設定一覧の項目名をクリックすることで、変換方法を入力することができます。



<変換方法が自社データの内容によらない場合>



項番	項目名	説明
①	条件によって変換方法を変える	チェック OFF にしてください。
②	変換方法	以下のいずれかから選択してください。 ・固定値で…固定の値とする場合に選択してください。 ・ファイルの…自社データの内容や計算式を使用する場合に選択してください。
③	計算値	計算値を入力してください。②で「ファイルの」を選択した場合、自社データレイアウトの列をドラッグ&ドロップすることで自社データの内容を使用できます。また、以下の式記号も使用できます。 +、-、*、/、(、)

項番	項目名	説明
④	小数点以下の処理方法	マッピング&変換設定一覧でクリックした項目が金額の場合に表示されます。以下のいずれかから選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・切り捨て</li> <li>・切り上げ</li> <li>・四捨五入</li> </ul>

<自社データの内容によって変換方法を変える場合>

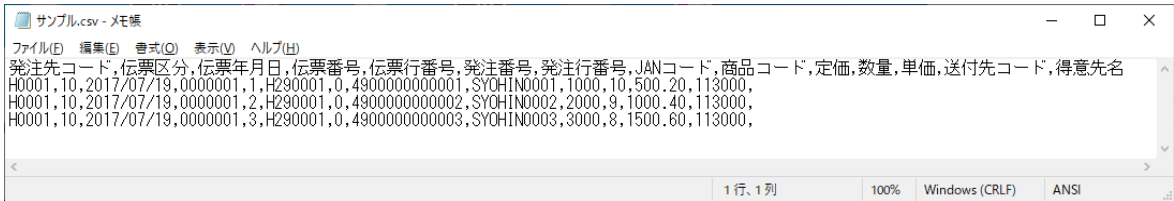
項番	項目名	説明
①	条件によって変換方法を変える	チェック ON にしてください。
②	追加	条件を追加する場合にクリックしてください。
③	削除	選択している条件を削除する場合にクリックしてください。
④	↑	選択している条件を上に移動する場合にクリックしてください。
⑤	↓	選択している条件を下に移動する場合にクリックしてください。
⑥	条件式	条件式を入力してください。自社データレイアウトの列をドラッグ&ドロップすることで自社データの内容を使用できます。また、以下の式記号も使用できます。 +、-、*、/、(、)、<、>、<=、>=、=、AND、OR、NOT
⑦	変換方法	以下のいずれかから選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・固定値で…固定の値とする場合に選択してください。</li> <li>・ファイルの…自社データの内容や計算式を使用する場合に選択してください。</li> </ul>
⑧	計算値	計算値を入力してください。⑦で「ファイルの」を選択した場合、自社データレイアウトの列をドラッグ&ドロップすることで自社データの内容を使用できます。また、以下の式記号も使用できます。 +、-、*、/、(、)

## 3. 操作説明 -設定画面(変換方法の入力について)- 3 / 9

項番	項目名	説明
⑨	小数点以下の処理方法	マッピング&変換設定一覧でクリックした項目が金額の場合に表示されます。以下のいずれかから選択してください。 <ul style="list-style-type: none"><li>・切り捨て</li><li>・切り上げ</li><li>・四捨五入</li></ul>

■操作&設定例

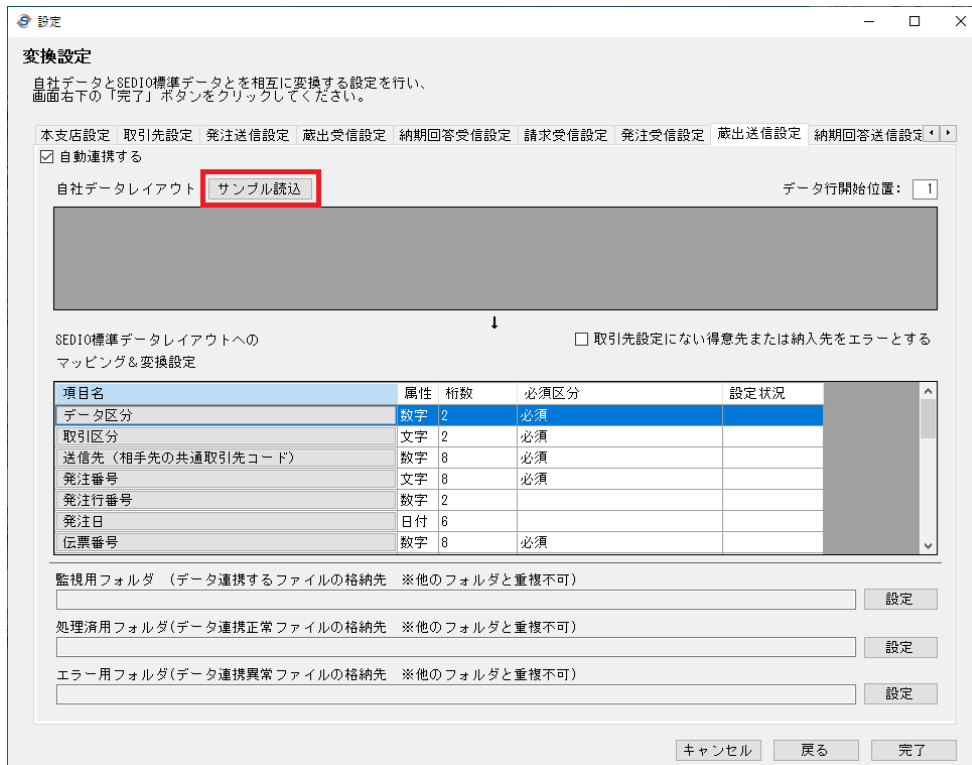
以下のサンプルファイルを使って、複数条件による SEDI0 標準 128 バイトデータの取引区分への変換方法を設定する例を示します。



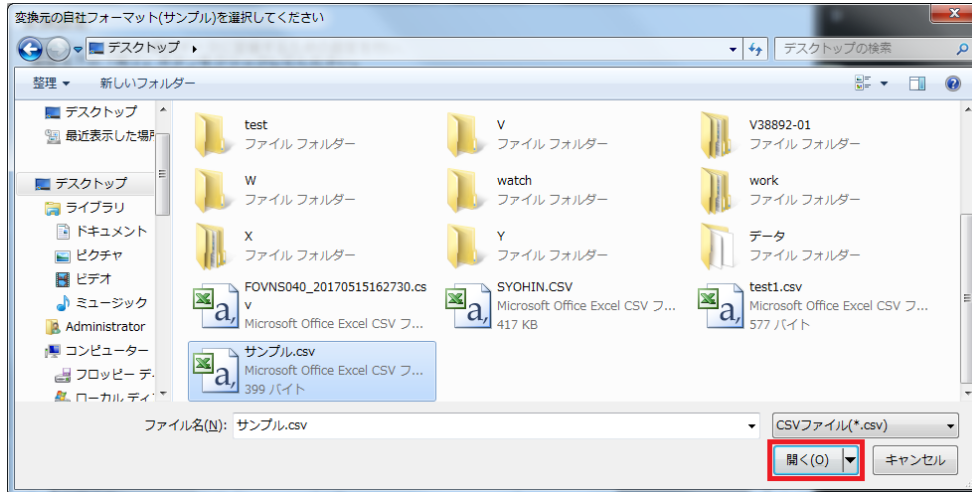
なお、自社データは以下の内容で出力されるものとします。

1. 伝票区分には 10 (店入れ) または、30 (直送) が出力される。
2. 単価がマイナスの場合、値引きデータである。
3. 数量がマイナスの場合、返品データである。

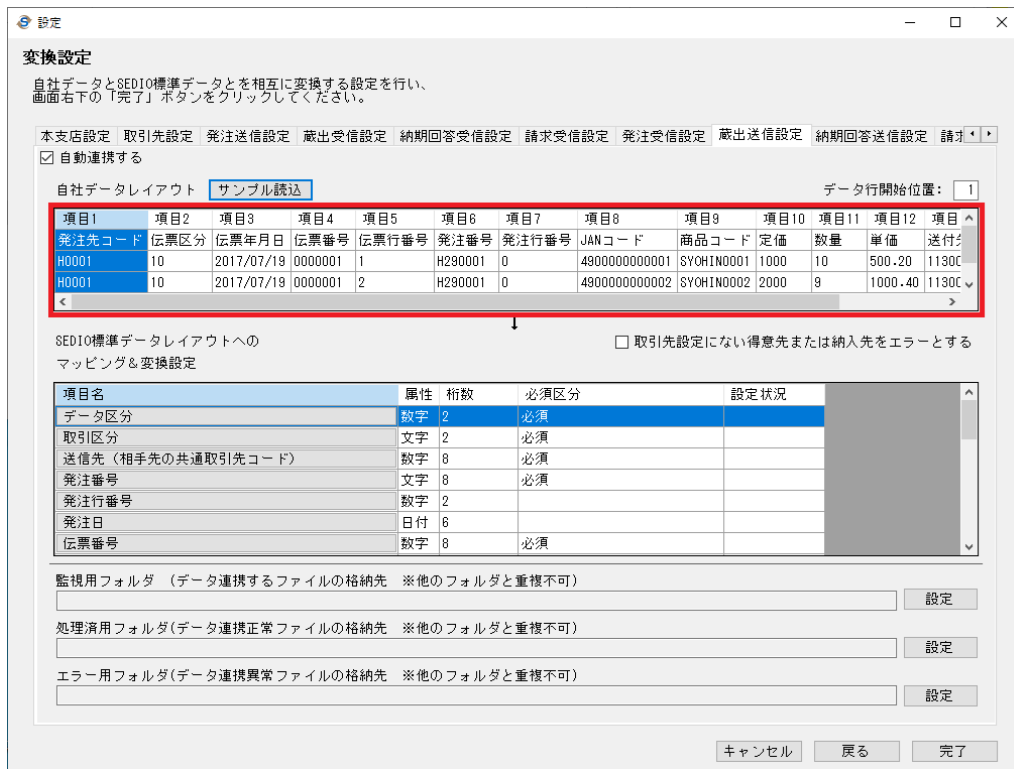
①まず、サンプルファイルを画面に読み込みます。「サンプル読込」をクリックしてください。



サンプルファイルを選択して、「開く」をクリックしてください。



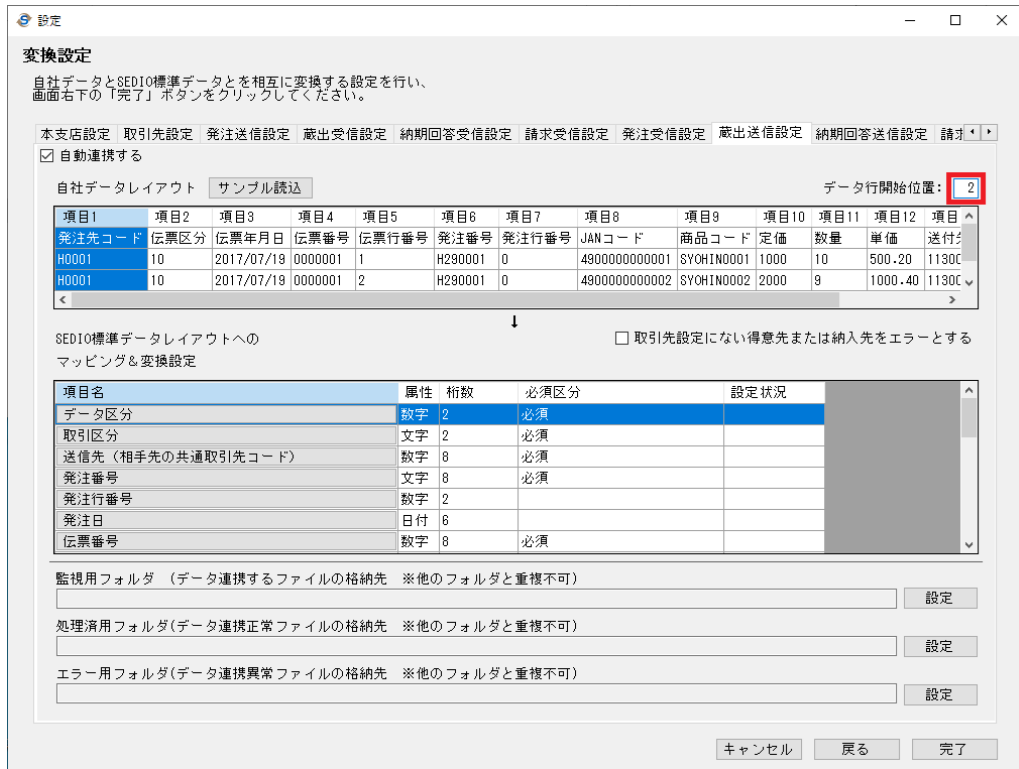
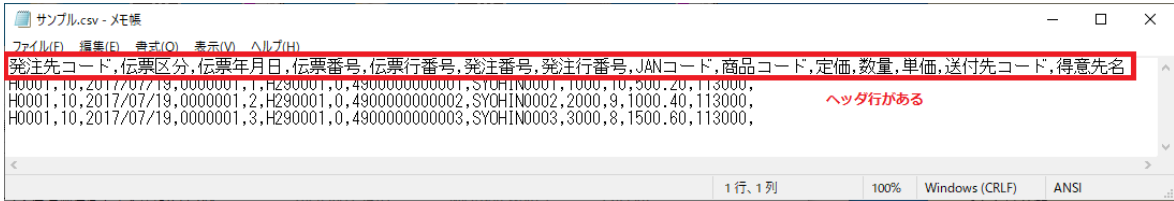
画面の自社データレイアウトにサンプルファイルの内容が読み込まれました。



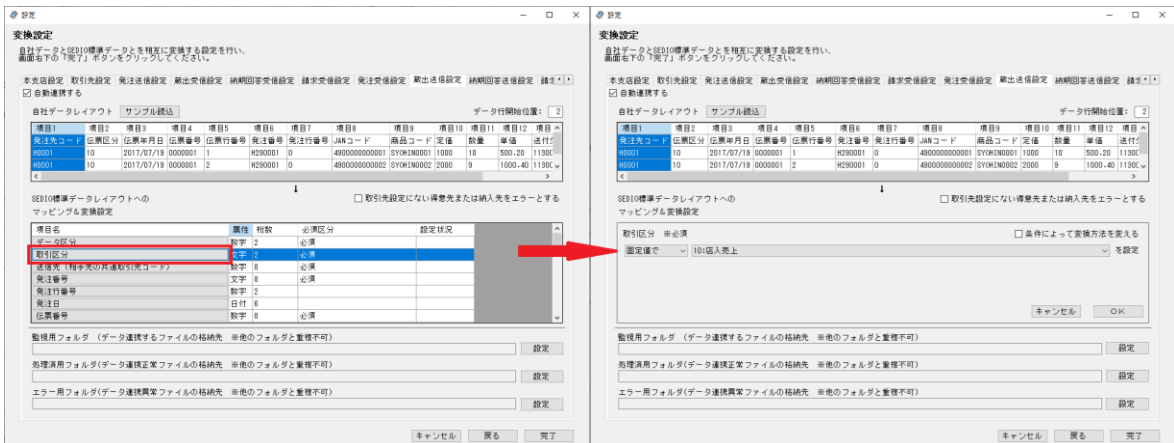


### 3. 操作説明 -設定画面(変換方法の入力について)- 6 / 9

この例では、自社データにヘッダ行があるため、データ行開始位置には2を入力します。

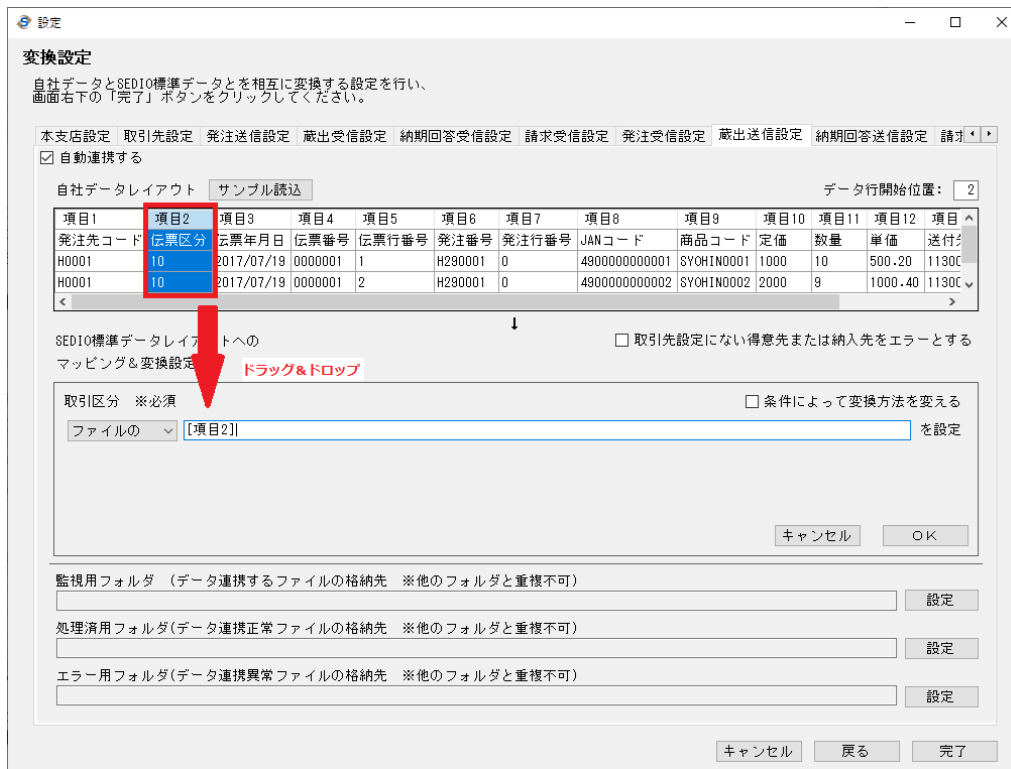


②次に、マッピング&変換設定一覧の「取引区分」をクリックしてください。表示が切り替わります。

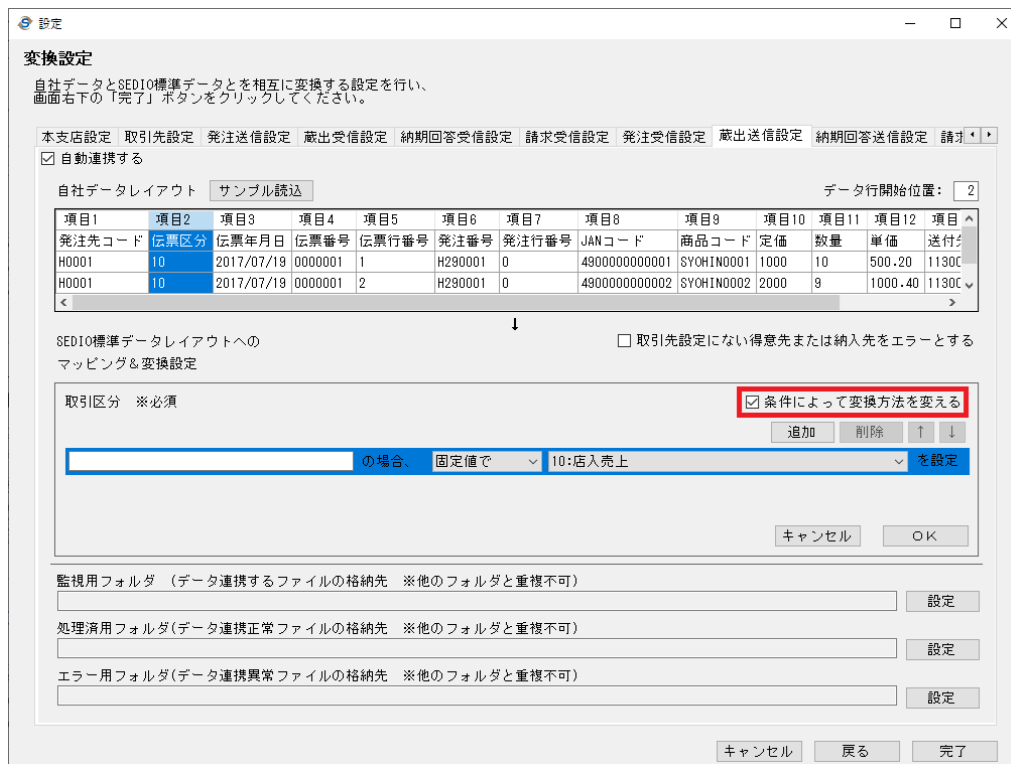


### 3. 操作説明 -設定画面(変換方法の入力について)- 7 / 9

ここで、もし以下のように自社データの伝票区分を単純に SEDI0 標準 128 バイトデータの取引区分としてしまうと、いくら自社システムで赤伝票を出力して自動連携させようとしても、変換結果は黒伝票となってしまいます。



そこで、「条件によって変換方法を変える」をチェック ON にして条件を入力します。



### 3. 操作説明 -設定画面(変換方法の入力について)- 8 / 9

まず、自社データの内容の「2. 単価がマイナスの場合、値引きデータである。」より、1つ目の変換方法を以下のように入力します。

変換設定

自社データとSEDI0標準データとを相互に変換する設定を行い、画面右下の「完了」ボタンをクリックしてください。

本支店設定 取引先設定 発注送信設定 蔵出受信設定 納期回答受信設定 請求受信設定 発注受信設定 蔵出送信設定 納期回答送信設定 請求...

自動連携する

自社データレイアウト サンプル読込 データ行開始位置: 2

項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13
発注先コード	伝票区分	伝票年月日	伝票番号	伝票行番号	発注番号	発注行番号	JANコード	商品コード	定価	数量	単価	送料
H0001	10	2017/07/19	0000001	1	H290001	0	4900000000001	SYOHIN0001	1000	10	500.20	1130C
H0001	10	2017/07/19	0000001	2	H290001	0	4900000000002	SYOHIN0002	2000	9	1000.40	1130C

SEDI0標準データレイアウトへのマッピング&変換設定  取引先設定にない得意先または納入先をエラーとする

取引区分 ※必須  条件によって変換方法を変える

[項目12] < 0 の場合、 固定値で 50:値引 を設定

追加 削除 ↑ ↓

キャンセル OK

監視用フォルダ (データ連携するファイルの格納先 ※他のフォルダと重複不可) 設定

処理済用フォルダ(データ連携正常ファイルの格納先 ※他のフォルダと重複不可) 設定

エラー用フォルダ(データ連携異常ファイルの格納先 ※他のフォルダと重複不可) 設定

キャンセル 戻る 完了

次に、自社データの内容の「3. 数量がマイナスの場合、返品データである。」より、2つ目と3つ目の変換方法を以下のように入力します。

変換設定

自社データとSEDI0標準データとを相互に変換する設定を行い、画面右下の「完了」ボタンをクリックしてください。

本支店設定 取引先設定 発注送信設定 蔵出受信設定 納期回答受信設定 請求受信設定 発注受信設定 蔵出送信設定 納期回答送信設定 請求...

自動連携する

自社データレイアウト サンプル読込 データ行開始位置: 2

項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13
発注先コード	伝票区分	伝票年月日	伝票番号	伝票行番号	発注番号	発注行番号	JANコード	商品コード	定価	数量	単価	送料
H0001	10	2017/07/19	0000001	1	H290001	0	4900000000001	SYOHIN0001	1000	10	500.20	1130C
H0001	10	2017/07/19	0000001	2	H290001	0	4900000000002	SYOHIN0002	2000	9	1000.40	1130C

SEDI0標準データレイアウトへのマッピング&変換設定  取引先設定にない得意先または納入先をエラーとする

取引区分 ※必須  条件によって変換方法を変える

[項目12] < 0 の場合、 固定値で 50:値引 を設定

[項目11] < 0 AND [項目2] = 10 の場合、 固定値で 20:店入返品 を設定

[項目11] < 0 AND [項目2] = 30 の場合、 固定値で 40:直送返品 を設定

追加 削除 ↑ ↓

キャンセル OK

監視用フォルダ (データ連携するファイルの格納先 ※他のフォルダと重複不可) 設定

処理済用フォルダ(データ連携正常ファイルの格納先 ※他のフォルダと重複不可) 設定

エラー用フォルダ(データ連携異常ファイルの格納先 ※他のフォルダと重複不可) 設定

キャンセル 戻る 完了

### 3. 操作説明 -設定画面(変換方法の入力について)- 9 / 9

最後に、自社データの内容の「1.伝票区分には10(店入れ)または、30(直送)が出力される。」より、4つ目と5つ目の変換方法を以下のように入力します。

変換設定

自社データとSEDIO標準データを相互に変換する設定を行い、画面右下の「完了」ボタンをクリックしてください。

本支店設定 取引先設定 発注送信設定 蔵出受信設定 納期回答受信設定 請求受信設定 発注受信設定 蔵出送信設定 納期回答送信設定 請求...

自動連携する

自社データレイアウト サンプル読込 データ行開始位置: 2

項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	
発注先コード	伝票区分	伝票年月日	伝票番号	伝票行番号	発注番号	発注行番号	JANコード	商品コード	定価	数量	単価	送料
H0001	10	2017/07/19	0000001	1	H290001	0	4900000000001	SYOHIN0001	1000	10	500.20	1130C
H0001	10	2017/07/19	0000001	2	H290001	0	4900000000002	SYOHIN0002	2000	9	1000.40	1130C

SEDIO標準データレイアウトへのマッピングと変換設定  取引先設定にない得意先または納入先をエラーとする

取引区分 ※必須  条件によって変換方法を変える

[項目11] < U ANU [項目2] = 30 の場合、固定値で 40:直送返品 を設定

[項目2] = 10 の場合、固定値で 10:店入売上 を設定

[項目2] = 30 の場合、固定値で 30:直送売上 を設定

監視用フォルダ (データ連携するファイルの格納先 ※他のフォルダと重複不可) 設定

処理済用フォルダ(データ連携正常ファイルの格納先 ※他のフォルダと重複不可) 設定

エラー用フォルダ(データ連携異常ファイルの格納先 ※他のフォルダと重複不可) 設定

キャンセル 戻る 完了

③ 「OK」をクリックして変換方法を確定してください。

変換設定

自社データとSEDIO標準データを相互に変換する設定を行い、画面右下の「完了」ボタンをクリックしてください。

本支店設定 取引先設定 発注送信設定 蔵出受信設定 納期回答受信設定 請求受信設定 発注受信設定 蔵出送信設定 納期回答送信設定 請求...

自動連携する

自社データレイアウト サンプル読込 データ行開始位置: 2

項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	
発注先コード	伝票区分	伝票年月日	伝票番号	伝票行番号	発注番号	発注行番号	JANコード	商品コード	定価	数量	単価	送料
H0001	10	2017/07/19	0000001	1	H290001	0	4900000000001	SYOHIN0001	1000	10	500.20	1130C
H0001	10	2017/07/19	0000001	2	H290001	0	4900000000002	SYOHIN0002	2000	9	1000.40	1130C

SEDIO標準データレイアウトへのマッピングと変換設定  取引先設定にない得意先または納入先をエラーとする

取引区分 ※必須  条件によって変換方法を変える

[項目11] < U ANU [項目2] = 30 の場合、固定値で 40:直送返品 を設定

[項目2] = 10 の場合、固定値で 10:店入売上 を設定

[項目2] = 30 の場合、固定値で 30:直送売上 を設定

監視用フォルダ (データ連携するファイルの格納先 ※他のフォルダと重複不可) 設定

処理済用フォルダ(データ連携正常ファイルの格納先 ※他のフォルダと重複不可) 設定

エラー用フォルダ(データ連携異常ファイルの格納先 ※他のフォルダと重複不可) 設定

キャンセル 戻る 完了

変換設定

自社データとSEDIO標準データを相互に変換する設定を行い、画面右下の「完了」ボタンをクリックしてください。

本支店設定 取引先設定 発注送信設定 蔵出受信設定 納期回答受信設定 請求受信設定 発注受信設定 蔵出送信設定 納期回答送信設定 請求...

自動連携する

自社データレイアウト サンプル読込 データ行開始位置: 2

項目名	属性	桁数	必須区分	設定状況
データ区分	数字	0	必須	
取引区分	文字	2	必須	変換方法が設定された
送信先(相手先の共通取引先コード)	数字	8	必須	
発注番号	文字	8	必須	
発注行番号	数字	2		
発注日	日付	8		
伝票番号	数字	8	必須	

監視用フォルダ (データ連携するファイルの格納先 ※他のフォルダと重複不可) 設定

処理済用フォルダ(データ連携正常ファイルの格納先 ※他のフォルダと重複不可) 設定

エラー用フォルダ(データ連携異常ファイルの格納先 ※他のフォルダと重複不可) 設定

キャンセル 戻る 完了

このような操作を繰り返して、自社データを SEDIO 標準 128 バイトデータに変換する方法を設定してください。

## 受信スケジュールの入力について

「スケジュール設定」をクリックすることで、受信スケジュールを確認・設定できます。

**変換設定**

自社データとSEDI標準データとを相互に変換する設定を行い、画面右下の「完了」ボタンをクリックしてください。

本支店設定 | 取引先設定 | 発注送信設定 | 蔵出受信設定 | 納期回答受信設定 | 請求受信設定 | 発注受信設定 | 蔵出送信設定 | 納期回答送信設定 | 請求

自動連携する

**スケジュール設定** 受信スケジュール: 1件 ※蔵出と納期回答は共通のスケジュールです。

SEDI標準データレイアウト

データ種別 | データ区分 | 取引区分 | 送信先 (自社の共通取引先コード) | 発注番号 | 発注行番号 | 発注日 | 伝票番号 | 伝票行番号 | 得意先または納入先

↓

自社データレイアウトへのマッピングと変換設定

取引先設定にない仕入先をエラーとする

データ項目数:  データ行開始位置:

設定状況
項目1

受信用フォルダ (データ連携正常ファイルの格納先 ※他のフォルダと重複不可)

エラー用フォルダ(データ連携異常ファイルの格納先 ※他のフォルダと重複不可)

---

**変換設定**

自社データとSEDI標準データとを相互に変換する設定を行い、画面右下の「完了」ボタンをクリックしてください。

本支店設定 | 取引先設定 | 発注送信設定 | 蔵出受信設定 | 納期回答受信設定 | 請求受信設定 | 発注受信設定 | 蔵出送信設定 | 納期回答送信設定 | 請求

自動

蔵出受信スケジュール一覧

SEDI	受信スケジュール
データ種別	編集   毎日 08:00から12:00まで10分毎に受信する   削除

自社データレイアウトへのマッピングと変換設定

受信用フォルダ (データ連携正常ファイルの格納先 ※他のフォルダと重複不可)

エラー用フォルダ(データ連携異常ファイルの格納先 ※他のフォルダと重複不可)

受信スケジュールを新規追加する場合は「追加」を、登録済みの受信スケジュールを編集する場合は「編集」をクリックしてください。後述の受信スケジュール設定画面が表示されます。

登録済みの受信スケジュールを削除する場合は「削除」をクリックしてください。

<毎日受信を行う場合>

Outgoing Mail Schedule Setting

①  毎日  
 毎週  
 毎月(日指定)  
 毎月(曜日指定)

② 00:00 から ③ 00:00 まで ④ 10 ⑤ 分毎に 受信する

キャンセル OK

項番	項目名	説明
①	受信スケジュール	毎日受信を行う場合、「毎日」を選択してください。
②	受信開始時刻	受信を開始する時刻を 0:00~23:59 の間で入力してください。
③	受信終了時刻	受信を終了する時刻を 0:00~23:59 の間で入力してください。
④	受信間隔	⑤で選択した単位が分または時間の場合に入力してください。
⑤	受信間隔単位	受信開始時刻から受信終了時刻までの間に受信を行う間隔を以下のうちから選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 回のみ</li> <li>・ 分毎に</li> <li>・ 時間毎に</li> </ul>

<特定の曜日のみ受信を行う場合>

Outgoing Mail Schedule Setting

①  毎日      ②  日曜日  月曜日  火曜日  水曜日  木曜日  金曜日  土曜日  
 毎週  
 毎月(日指定)  
 毎月(曜日指定)

③ 00:00 から ④ 00:00 まで ⑤ 10 ⑥ 分毎に 受信する

キャンセル OK

項番	項目名	説明
①	受信スケジュール	特定の曜日のみ受信を行う場合、「毎週」を選択してください。
②	受信曜日	受信を行う曜日を選択してください。複数選択可能です。
③	受信開始時刻	受信を開始する時刻を 0:00~23:59 の間で入力してください。
④	受信終了時刻	受信を終了する時刻を 0:00~23:59 の間で入力してください。
⑤	受信間隔	⑥で選択した単位が分または時間の場合に入力してください。

3. 操作説明 -設定画面(受信スケジュールの入力について)- 1 / 4

項番	項目名	説明
⑥	受信間隔単位	受信開始時刻から受信終了時刻までの間に受信を行う間隔を以下のうちから選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 回のみ</li> <li>・ 分毎に</li> <li>・ 時間毎に</li> </ul>

<特定の日のみ受信を行う場合>

項番	項目名	説明
①	受信スケジュール	特定の日のみ受信を行う場合、「毎月(日指定)」を選択してください。
②	受信日	受信を行う日を選択してください。複数選択可能です。 毎月月末に受信を行いたい場合、最終日を選択してください。
③	受信開始時刻	受信を開始する時刻を 0:00～23:59 の間で入力してください。
④	受信終了時刻	受信を終了する時刻を 0:00～23:59 の間で入力してください。
⑤	受信間隔	⑤で選択した単位が分または時間の場合に入力してください。
⑥	受信間隔単位	受信開始時刻から受信終了時刻までの間に受信を行う間隔を以下のうちから選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 回のみ</li> <li>・ 分毎に</li> <li>・ 時間毎に</li> </ul>

<特定の週の曜日のみ受信を行う場合>

3. 操作説明 -設定画面(受信スケジュールの入力について)- 1 / 4

項番	項目名	説明
①	受信スケジュール	特定の週の曜日のみ受信を行う場合、「毎月(曜日指定)」を選択してください。
②	受信週&曜日	受信を行う週と曜日を選択してください。複数選択可能です。毎月最終週に受信を行いたい場合、最終を選択してください。
③	受信開始時刻	受信を開始する時刻を 0:00~23:59 の間で入力してください。
④	受信終了時刻	受信を終了する時刻を 0:00~23:59 の間で入力してください。
⑤	受信間隔	⑤で選択した単位が分または時間の場合に入力してください。
⑥	受信間隔単位	受信開始時刻から受信終了時刻までの間に受信を行う間隔を以下のうちから選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1回のみ</li> <li>・ 分毎に</li> <li>・ 時間毎に</li> </ul>